

チーム名	北陸新幹線Attendants	大学・学部	千葉大学法政経学部ほか	北陸ステージ
プラン名称	しあわせ切符			
リーダー名	齋藤哲大	テーマ	※選択したテーマに○をつけてください。 () ①文化振興を促す「観光まちづくりプラン」 (○) ②若者を呼び込む「観光まちづくりプラン」	事務局記入欄
指導教職員名	倉阪秀史			
メンバー名	榎本光希 齋藤哲大 白寄茉琳 出口森永 廣野森香 保東友香			

人生の幸せってなんだろう？

【1】現状分析

■北陸地方

- 止まらない人口(若年層)の流出
- 「幸福度ランキング」ナンバー1
 - 住みやすい生活環境…持ち家率高、待機児童0人
 - 働きやすい労働環境…優良企業多、正規雇用多



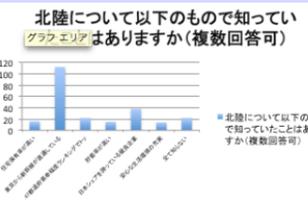
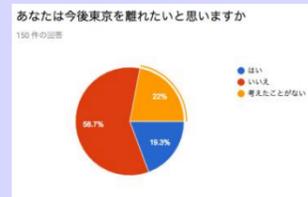
■首都圏の大学生

- なんとなく首都圏に住み続け、就職時にも首都圏から出ていかない傾向
- 金銭的余裕がなく、積極的に遠方に外出しない傾向
- 北陸地方について知識を持っていない

★課題★

- 首都圏の学生が首都圏から出てこない
- 北陸の良さが首都圏の大学生に伝わらない
- 首都圏の学生の就業選択の範囲が自然と狭められている

首都圏の大学生の就職に関する意識調査
(大学1～3年生150人を対象)



【3】提言するプログラム

■約7日間のプログラム

- うち5日間は北陸の企業で就業体験(長期ではなく「日替わり」に)
- ほか2日間は北陸任意の地で観光
- 期間中1日は民泊or古民家の体験(空き施設を活用し、基本の宿泊費¥0に)
- 国が自治体に配賦する補助金を活用

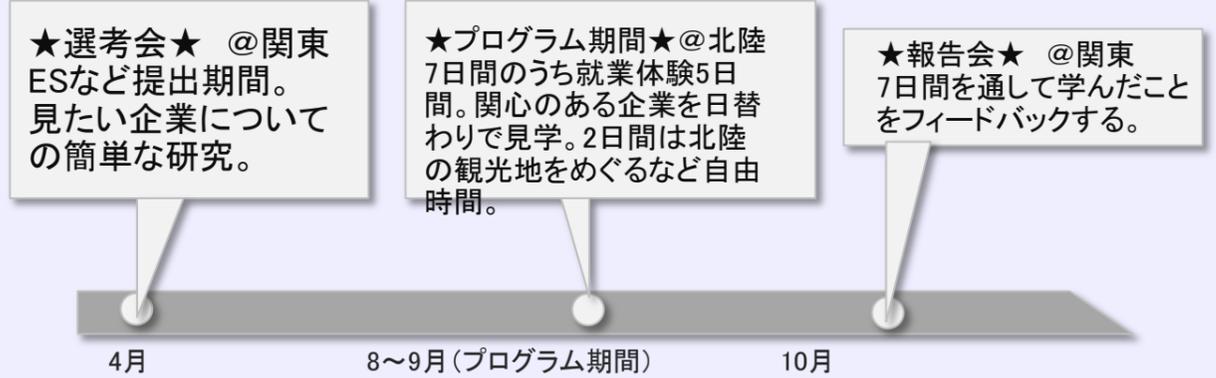
【新規性】

- 北陸に縁のない層を取り込む
- 北陸での就業機会を与える
- 「暮らす」「働く」「文化を知る」を包括して体験できる。

【PR手法】

- 実況中継(参加者によるもの)
- YouTube広告

～学生参加の流れ～



期間中にSNSや動画実況配信によって発信をし、北陸の良さを学生にPRしてもらおう→リアルな目線の口コミ効果

【2】提案する事業プラン

北陸に拠点を置く代表的な企業(民)で首都圏の大学生が実際に就業体験できるようなプログラムを北陸三県(官)と企業の採用担当者が一緒に作る。北陸のありのままを体験し、将来の生き方を拓く新しい企画を。



石川県庁での訪問調査の様子



日医工の対応してくださった人事部の方との一枚

【実地調査の様子】

- 石川県庁(写真左)
- 日医工(写真右)
- 高桑印刷
- 福井コンピューターほか

【4】期待される効果

- 大学生が人生の幸せについて考える機会を与えることができる
- 北陸地方での、生活体験を通して、幸福度の高さを実感し、移住・就業を感知する
- 北陸地方の観光地や商業施設にお金がかかる
- 北陸地方に人材が集い、町が活性化する

→若い世代の流入機会が増えることで、持続的に北陸地方が活性化する！